



# 東部営農経済センターだより 1月号

JA静岡市東部営農経済センター TEL: 245-7527

センター長	茶	苺・水稻・蔬菜	果樹	女性部(しづはた兼任)	購買
酒井	熊ヶ谷	深井・片井	久留	市川	栗田・萩原・後藤・田山・中村

## ～「農業用廃プラスチック回収」のお知らせ～

- ★ 農業用塩化ビニール・農業用ポリ関係の回収を本年も実施致します。
- ★ 詳しい内容については、部農会回覧をご確認ください。(8月上旬回覧予定)
- ⇒ ご希望の方は、委任状(申込書)を8月26日(金)までに最寄りのJA支店又は、東部営農経済センターへご提出ください。

注意：プラスチック、ポリとビニールの申請違いが無いよう、種類の確認をお願いします。

## 除草剤キャンペーン

**ザクサ液剤**  
2ℓ ￥7,799⇒**￥7,380**  
5ℓ ￥19,228⇒**￥18,200**



9月末日まで!!

### 畑のおともに JAのドリンク♪

レモン味も おすすめです!



### ポストニックウォーター

¥1,944 (税込)  
1ケース 24本  
素早い水分補給が可能な  
スポーツドリンクです。

背抜き手袋プレゼント!!

**タッチダウンIQ**  
6ℓ ￥12,980  
⇒**￥11,800**

**ブリグロックSL**  
5ℓ ￥7,260  
⇒**￥6,930**

## 茶【病虫害防除】

◆7月下旬～(防除適期は圃場環境によって異なります。)

クワシロカイガラムシ 2回目発生	アブロードエースフロアブル コルト顆粒水和剤	1,000倍 2,000倍	単用(14日) 単用(7日)
---------------------	---------------------------	------------------	-------------------

◆3番茶萌芽期～1葉開葉期

炭疽病・もち病・新梢枯死症 ウンカ・スリップス	フロンサイドSC コルト顆粒水和剤	2,000倍 2,000倍	混用(14日)
----------------------------	----------------------	------------------	---------

◆3茶生育期

炭疽病・もち病・褐色円星病 スリップス・ハマキムシ類	インダーフロアブル エクシレルSE	5,000倍 2,000倍	混用(7日)
-------------------------------	----------------------	------------------	--------

※エクシレルSEはマダラカサハラハムシに効果あり

◆8月上旬

ハマキ虫類(ヨモギエダシヤク)	ファルコンフロアブル	4,000倍	単用(7日)
-----------------	------------	--------	--------

※ファルコンは若令幼虫期に使用する。時期を逸した場合は、アファーム乳剤 2,000倍(7日)に代える。

### 【一番茶後更新園の整枝】

時期：再生芽が平均15cm(5～6枚)になり葉色が濃くなった頃(更新後60日)  
※日数よりも芽の大きさを優先し、7月までに整枝できない場合は、秋整枝して下さい。  
位置：更新した位置より5cm程度(2～3枚残す)上で整枝して下さい。

## 柑橘

8月を迎え摘果作業を行っている事と思われます。下記に記載した品種別葉果比表を基準に仕上げ摘果を行ってください。中晩柑類は、大玉生産にするため内裾なり果・小玉果・傷果・奇形果を重点的に摘果しましょう。気温も高くなってきましたので、体調に気をつけて作業に当たってください。

品種	摘果時期	葉果比(葉の枚数に対する果数)	内裾なり果・小玉果・傷果・奇形果を中心に摘果を行ってください。特に中晩柑類は、直花果の肥大が鈍いので、摘果してください。
極早生	8月中旬	25枚に1果	
早生	8月下旬	25枚に1果	
青島	9月上旬	20枚に1果	
ポンカン	9月上旬	100～120枚に1果	
不知火・はるみ	8月下旬	100～120枚に1果	
スルガエレガント	8月下旬	90～120枚に1果	

### ◎防除管理 【温州みかん】

散布時期	対象病害虫	使用農薬名	希釈倍数	使用基準
8月上旬	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回
	チャノキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	14日-3回

※収穫の早い極早生の黒点病防除は、8月中旬までに必ず散布してください。

### 【中晩柑】

散布時期	対象病害虫	使用農薬名	希釈倍数	使用基準
8月上旬	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回
	チャノキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	14日-3回

※中晩柑の黒点病防除剤(ペンコゼブ、ジマダ イセ、IMダ イア-水和剤)は収穫前の基準日数は、90日になりますので散布日に注意して下さい。

### ◎施肥管理

スルガエレガント…スルガペレット 3袋/10a  
不知火・はるみ…新FTE S604 2袋/10a

⇒ ※「はるみ」のべたなりで葉が黄色くなっている樹は早急な摘果と  
**ダブルクイックS550 1袋/10a**の施用をおすすめします。



### ◎品質向上対策【マルチの被覆】

糖度上昇や着色促進、浮皮軽減効果が期待できます。是非取り組んでください。

被覆方法	被覆時期		被覆目的
全面マルチ	青島	8月上旬～8月中旬	着色促進、糖度向上
部分マルチ	早生	8月上旬	着色促進 収穫早期化
	青島	8月中下旬	

## 落葉果樹

作物名	散布時期	対象病害虫	使用農薬名	希釈倍数	使用基準
キウイ	8月中旬	果実軟腐病	トップジンM水和剤	1,000倍	前日-5回
柿	8月上旬	フジコナカイガラムシ カキヘタムシガ	モスピラン顆粒水溶剤◎	2,000倍	前日-3回
梨	8月上旬	ハマキムシ・シンクイムシ類	アグロスリン水和剤◎	1,000倍	前日-3回

◎の表示の付いた農薬は、購入時に印鑑が必要となります。

## 水稻

### ～トビイロウンカ～

病害虫防除所予察（6/29 発表）発生量：やや多い  
当管内での発生は確認していませんので、通常防除をしっかりと行ってください。

※薬剤散布は、トビイロウンカの寄生する株元に薬剤が十分に届くように散布する。

### ～イネカメムシ～

近年イネカメムシの発生が増えています。出穂 10 日前までには畦畔の除草を行い、カメムシ類の密度を下げておきましょう。

#### 1) 穂肥の施用

- ① 中干し後、穂肥を施用し3～5日間湛水する
- ② 穂肥施用時期になっても葉色がさめない場合は減肥する
- ③ 一発肥の場合、穂肥時期の3日前に入水して肥料を効かせる

6/1 田植

品種	穂肥時期	出穂期
ひとめぼれ	7/17	8/6
コシヒカリ	7/24	8/9
あいちのかおりSBL	8/3	8/24
きぬむすめ	7/27・8/3	8/21
ヒノヒカリ	8/1・8/11	8/22
葵美人	7/28・8/4	8/21

#### 2) 水管理

- ① 出穂 25 日～10 日前は3日おきに湛水と落水を繰り返す（間断かん水）
- ② 穂ばらみ～出穂期は最も水を必要とするので3～4cmの深水にする

#### 3) 病害虫防除 水田への薬剤散布後7日間は落水、かけ流しをしないようにしましょう！

液剤体系	時期	対象病害虫	薬剤	倍率	回数
液剤体系	7月下旬～8月上旬	ウンカ・カメムシ	トレボン乳剤	1,000倍	14日-3回
		紋枯病	モンカットフロアブル	1,000倍	14日-3回
		いもち	ダブルカットフロアブル	1,000倍	穂揃期-2回 (穂が8割出たころ)
	出穂直後(8月中旬)	ウンカ・カメムシ ツマグロヨコバイ	キラップジョーカーフロアブル	1,000倍	14日-2回
		いもち・穂枯れ	ブラシンフロアブル	1,000倍	7日-2回
	乳熟期	カメムシ発生多い場合	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	7日-3回

※ コブノメイガが多い場合はロムダンゾル 1,000倍-21日前-2回以内

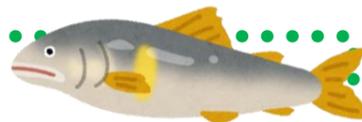
※ 粒剤は散布後、3～5cmの湛水状態を5日間保つ

☆☆☆ **ご存じですか!? 「まめつぶ剤」** ☆☆☆ ※水もちの悪い圃場には適しません。

⇒ 畔から散布すれば、水面を薬剤が広がり、らくらく防除！ 薬剤調整も器具も必要ありません。  
ワイドパンチ豆つぶ剤…いもち病・紋枯病・ウンカ・カメムシ 250g/10a（収穫35日前まで）  
おいp@

### 組合員鮎釣り大会について

- 開催日：9月6日（火） 受付6：00～ 富厚里橋上流400m（川小屋の上流側）
- 参加費：2,000円（おとり、弁当、お茶付）※入川券は個人負担とします。
- 申込：8月22日（月）までに最寄の支店または営農センターへお申し込みください。



## いちご

長雨明けの急激な晴れや高温は苗に対する大きなダメージになります。灌水量の確認だけでなく、遮光資材や遮熱資材を使うなど高温対策をとるようお願いいたします。また、体調管理に十分注意したうえで、作業されますように重ねてお願い申し上げます。

### 《育苗》 採苗状況はいかがですか？ 炭疽病防除を宜しくお願いします。

- 1、育苗管理 「炭疽病の恐れがある株は早期に除去しましょう。圃場は毎日一回りです。」
  - ・ 切り離しは先端を止め、親株を切り離し、太郎から順番に切り離していくことで子株に対するストレス軽減につながります。（数日に分けて切り離しましょう。）  
※最終ポット受けから20日間は切り離ししないようにしましょう。
  - ・ 8月上旬までに切り離しを行うのが理想です。（切離後育苗日数：40日～50日）
  - ・ 切り離し後にはIB化成S1号を施用（1粒/小型ポット）
  - ・ 切り離し後、苗をそろえるよう常時2～3枚を目安に葉かきをする（定植時は4～5枚）。
  - ・ 苗の間隔をとり、風通しをよくする。
  - ・ 急激な晴れや、高温の時間帯には寒冷紗をかける。

#### 2、育苗圃防除ローテーション（先月号の続き）

時期	薬剤	RAC	倍率	主な対象病害虫	
8月	第1週 (31日～6日)	ジマンダイセン（水）	M3	600倍	炭疽
		エコピタ（液）	—	100倍	ハダニ・うどんこ・アブラムシ
	第2週 (7日～13日)	オーソサイド（水）80	M4	800倍	炭疽
		バロック（フ）	10B	2,000倍	ハダニ
	第3週 (14日～20日)	セイビア-20（フ）	12	1,000倍	炭疽
		ピラニカEW <sup>Ⓞ</sup>	21A	2,000倍	ハダニ・うどんこ・アブラムシ
	第4週 (21日～27日)	ベルコート（水）	M7	1,000倍	うどんこ・炭疽
		カスケード（乳）	15	4,000倍	ハスモンヨトウ・アザミウマ
	第5週 (28日～3日)	ファンタジスタ（顆水）	11	2,000倍	炭疽
		コルト（顆水）	9B	3,000～4,000倍	アブラムシ・コナジラミ

#### 3、コガネムシの防除

本圃定植前にコガネムシの防除をしましょう。

お勧め農薬	使用時期	使用方法	使用倍率	回数制限
ダイアジノン SL ゾル	ポット育苗時	育苗ポット灌注	500倍（1,000ℓ/10a）	1回
	定植前（本圃）	全面土壌混和	25倍（100ℓ/10a）	1回

※成分の「ダイアジノン」については総使用回数が2回までとなっています。

#### 4、子株の肥培管理 「肥料は測って管理しましょう。」

置き肥の場合、9月の月上旬に肥効が切れる様に管理して、その後は液肥にて管理するのが望ましいです。葉面散布の場合は3日間隔程度で施用しましょう。

※9月上旬からは硝酸イオン濃度50～100ppm程度になるように管理しましょう。

☆お勧め資材☆ ※測定方法が不明な方は営農センターまでお問合せ下さい。

- ・メルコクアント試験紙¥5,170（税込み）※令和4年7月時点
- ※冷蔵庫にて保管し、持ち運ぶ際は保冷剤を入れた保冷バックに入れて下さい。



Ⓞの表示の付いた農薬は、購入時に印鑑が必要となります。